

平成23年度 事業計画

株式会社エフエム新津の平成23年度事業計画を、下記の通りとする。

I) 運営方針

内閣府は平成23年度の経済見通しを、「世界経済の緩やかな回復が期待される中で
予算・税制等による新成長戦略の本格実施等を通じて、雇用・所得環境の改善が民間需
要に波及する動きが徐々に強まることから、景気は持ち直し、経済成長の好循環に向け
た動きが見込まれる。デフレ脱却と雇用拡大を最優先し法人実効税率引き下げ等を行う。
需要喚起策の政策ツールとして規制・制度改革をさらに強力に推進する。」との政策を
打ち出している。

平成23年6月下旬の施行を目指しての放送法・省令改正案もその一環である。

そんな中、世界規模4番目という日本中を震撼させた東日本大震災が発生。
弊社も即刻、秋葉区と南区の緊急告知ラジオを起動し、秋葉区・南区のライフライン
情報や交通機関からの情報・避難所の開設情報等々を緊急放送として対応した。
災害が起きれば、第一にライフラインに支障が起こる。携帯ラジオの本領発揮です。
テレビは決定的な瞬間を追いかける習慣のせいか、つらい映像を何度も繰り返す。
目を覆いたくなるような惨劇を繰り返し目にする事で、希望を求める人々に絶望を重
ねるのでは無いか？と提言する批評家がおられた。

一方、地元ラジオが素朴な形で緊急事態に対応している放送を聴き、勇気付けられた
とも。いたずらに不安をあおらず、身近な情報を的確・正確に収集し放送することを
今後とも目標として参ります。

II) 平成23年度の課題

(1) 災害情報提供の有効利用と構築

- * 秋葉区・南区・阿賀野市と「緊急告知ラジオ」の設置配備運用がされていることから
引き続き、起動実験を自治会・民生委員の協力で、毎月第3日曜日9時から放送。
初動伝達を有効利用出来るよう、行政と共に訓練を重ねていく。
- * 消防署からの「火災情報」が緊急車両出動と共に即刻通報される体制が完備され、正確
な情報が即刻入手出来る。
携帯電話から緊急割込放送操作が出来るシステムを駆使し、少人数運営のカバーを
しつつ、地域住民の安全を守りたい。
- * 南区役所の「緊急告知ラジオ」設置事業を昨年から3ヶ年事業として着手。
今後、行政窓口と情報伝達・広報方法等について取決めをする。
- * 阿賀野市の「緊急告知ラジオ」設置事業を今期から3ヶ年事業として着手。
行政情報広報に出稿もあることから、内容について相互意見を取り入れ構築したい。

(2) ホームページの有効活用

- * ホームページと連動した広告展開の拡大を引き続き行う
- * 難聴エリア・エリア外聴取者対策としてホームページから音声ダウンロード拡充
対応番組も増え反応も出て来ている事から、サイマル放送の検討と共に増強する。

(3) 商店街活性化イベントのサポートと営業展開

- * 新津商工会議所を中心として、まちなか活性化運動気運が盛り上がっている。
放送・ホームページ等を使った取組・運営に参加し、併せて営業展開に繋げたい。

平成23年度 収支予算書

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

※消費税込み表示

科 目	①H23年・予算額
事業収入	68,800,000
事業支出	64,069,985
営業費用	64,069,985
①番組費	21,143,060
②技術費	4,614,068
③販売費	6,223,850
④人件費	24,402,876
⑤管理費	7,686,131
営業外費用	0
法人税	1,419,000
当期損益	3,311,015
累計損益	▲ 16,747,200

単位:円